

平成29年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

[別冊資料編]

平成29年5月12日(金)

ピュアリティまきび

3階「橘」

別 冊 資 料 編

- 資料1 平成28年度マイバッグ持参率等アンケート調査結果 . . . 1
- 資料2 平成29年度おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコ . . . 11
- チャレンジコンテスト募集要領 等
- 資料3 食品ロス削減のポスター . . . 20

平成28年度
岡山県マイバッグ持参率等アンケート調査
報告書

2017年3月

目次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	2
2. アンケート調査実施店舗名・アンケート集計数・アンケート調査日	2
3. 調査方法	2
4. 調査実施機関	2
5. 注意事項	2
II 設問別の結果	
1. 年代	3
2. 性別	3
3. 居住地	4
4. 岡山県統一ノーレジ袋デー	5
5. マイバッグの所持	5
6. マイバッグ持参回数	6
7. マイバッグを持って行けない(行かない)時の理由	6
8. お店がレジ袋を有料にした場合	7
9. レジ袋有料店舗	7
10. マイバッグを持参する人を増やすには	8
III 調査票	10

I 調査の概要

1. 調査の目的

岡山県内のマイバッグの持参率等を把握し、レジ袋の削減に係る施策の基礎資料とする。

2. アンケート調査実施店舗名・アンケート集計数・アンケート調査日

調査実施店舗名	集計数	調査日
フレスタ津島店	200	1月24日
ニシナフードバスケット笠岡店	200	2月1日
フレスタ新見店	200	2月3日
パークス東山店	200	2月6日
ハッピーズ山陽店	200	2月7日
チョッパーズ新福店	200	2月8日
ザ・ビッグ連島店	200	2月13日
ハッピーマート勝央店	200	2月14日
業務用食品スーパー新倉敷店	200	2月15日
マルイノースランド店	200	2月17日
天満屋ハピータウンリブ総社店	200	2月20日
マックスバリュ備前店	200	2月21日
ゆめタウン平島店	200	2月22日
マルイ勝山店	200	2月24日
Aコープ真備店	200	3月6日
合計	3,000	

3. 調査方法

岡山県内15店舗の店内にて、来店者に対するヒアリング及び回答者によるアンケート用紙への直接記入(無記名)。

4. 調査実施機関

株式会社 東京商工リサーチ 岡山支店

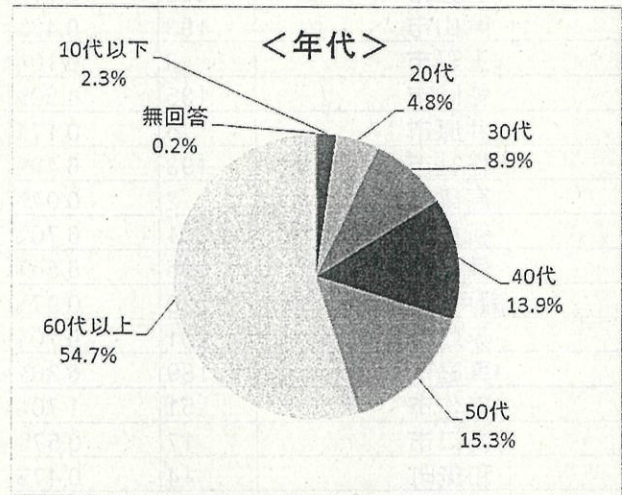
5. 注意事項

- ・アンケートにいずれか回答があったものは有効回答とする。
- ・「回答拒否」「記入なし」は「無回答」として処理している。
- ・「1つのみに○」の質問に複数回答があった場合は「無効」として処理している。
- ・アンケートQ(以下「Q」という。)5について持っていないと回答しQ6及び7に回答がある場合は「無効」とした。
- ・Q6はQ5で持っているとして回答した件数で構成比を算出した。
- ・Q6の集計表の上段は件数、下段は回答件数の合計に対する割合(%)とする。
- ・Q7はQ6で0～9回と回答したものについて各項目を集計し、総件数で構成比を算出した。
- ・表中の構成比率は小数点第3位以下を四捨五入し小数点第2位表記とし、図(グラフ)の構成比率は小数点第2位を四捨五入し小数点第1位表記とするが、端数処理のため合計は100%にならない場合がある。

Ⅱ 設問別の結果

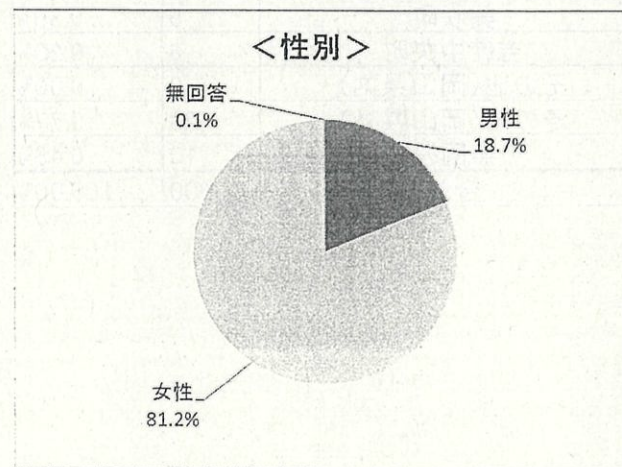
1. 年代

区分	件数	構成比
10代以下	68	2.27%
20代	143	4.77%
30代	268	8.93%
40代	416	13.87%
50代	458	15.27%
60代以上	1,641	54.70%
無回答	6	0.20%
合計	3,000	100.00%



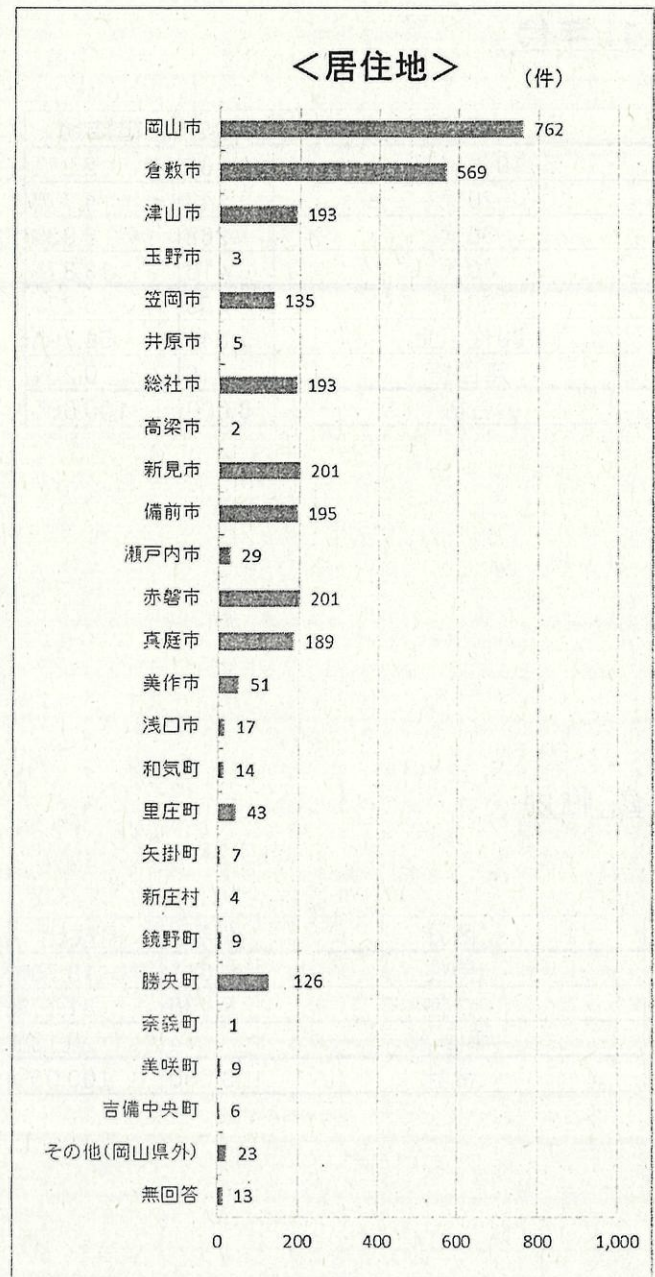
2. 性別

区分	件数	構成比
男性	561	18.70%
女性	2,435	81.17%
無回答	4	0.13%
合計	3,000	100.00%



3. 居住地

市町村名	件数	構成比
岡山市	762	25.40%
倉敷市	569	18.97%
津山市	193	6.43%
玉野市	3	0.10%
笠岡市	135	4.50%
井原市	5	0.17%
総社市	193	6.43%
高梁市	2	0.07%
新見市	201	6.70%
備前市	195	6.50%
瀬戸内市	29	0.97%
赤磐市	201	6.70%
真庭市	189	6.30%
美作市	51	1.70%
浅口市	17	0.57%
和気町	14	0.47%
早島町	0	0.00%
里庄町	43	1.43%
矢掛町	7	0.23%
新庄村	4	0.13%
鏡野町	9	0.30%
勝央町	126	4.20%
奈義町	1	0.03%
西粟倉村	0	0.00%
久米南町	0	0.00%
美咲町	9	0.30%
吉備中央町	6	0.20%
その他(岡山県内)	0	0.00%
その他(岡山県外)	23	0.77%
無回答	13	0.43%
合計	3,000	100.00%



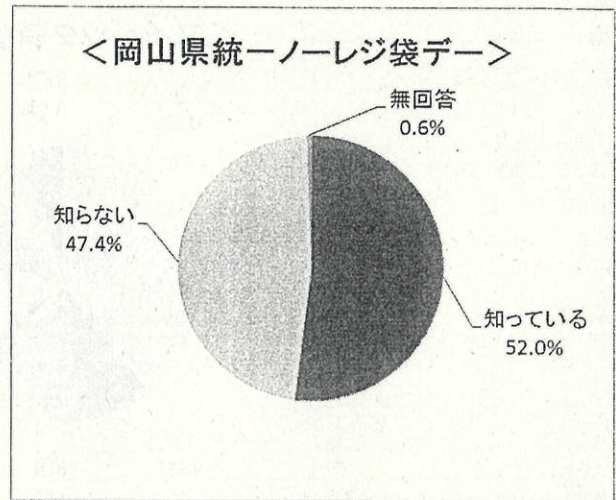
(その他岡山県外)

福山市6件、兵庫県赤穂市、島根県安来市各3件、奈良県、神戸市各2件、愛知県、京都府、鳥取県倉吉市、鳥取県日南町、島根県松江市、広島県大竹市、高知市各1件

4. 岡山県統一ノーレジ袋デー

Q あなたは、平成22年6月から始まった「岡山県統一ノーレジ袋デー(毎月10日)」のことを知っていますか？
(1つのみに○)

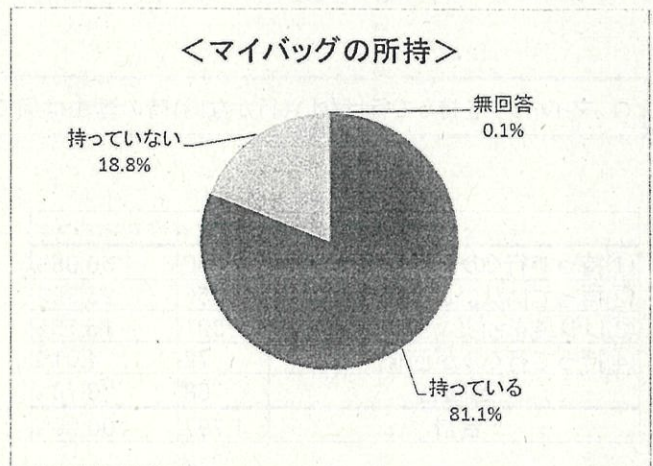
	件数	構成比
知っている	1,559	51.97%
知らない	1,423	47.43%
無回答	18	0.60%
合計	3,000	100.00%



5. マイバッグの所持

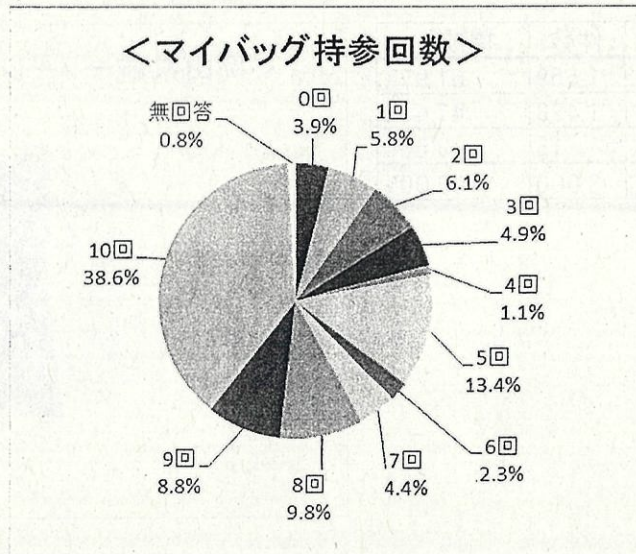
Q あなたは、買った商品を入れて持ち帰る袋(マイバッグ)やふるしきをお持ちですか？(1つのみに○)

	件数	構成比
持っている	2,432	81.07%
持っていない	565	18.83%
無回答	3	0.10%
合計	3,000	100.00%



6. マイバッグ持参回数

Q あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか？
(買い物10回のうち、マイバッグを持っていく回数)



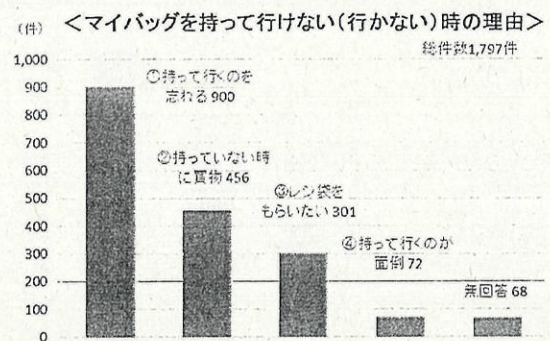
	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	無回答	小計
件数	96	142	149	120	27	325	57	106	238	214	939	19	2,432
構成比	3.95%	5.84%	6.13%	4.93%	1.11%	13.36%	2.34%	4.36%	9.79%	8.80%	38.61%	0.78%	100.00%

* マイバッグ持参率(マイバッグ持参回数が10回のうち8回以上の人の割合) 46.4%
マイバッグを持っている人だけを分母とした場合の上記比率 57.2%

7. マイバッグを持って行けない(行かない)時の理由

Q マイバッグを持って行けない(行かない)時の理由は何ですか？(複数に○可)

	件数	総件数に対する割合
① 持って行くのを忘れる	900	50.08%
② 持っていない時に買物	456	25.38%
③ レジ袋をもらいたい	301	16.75%
④ 持って行くのが面倒	72	4.01%
無回答	68	3.78%
合計	1,797	100.00%



8. お店がレジ袋を有料にした場合

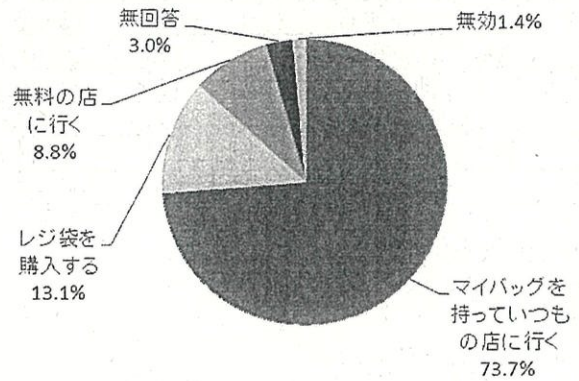
Q あなたは、いつも買い物に行くお店がレジ袋を有料にしたらどうしますか？(1つのみに○)

	件数	構成比
①マイバッグなどを持っていつもの店に行く	2,212	73.73%
②いつもの店に行きレジ袋を買う	392	13.07%
③レジ袋が無料の店に行く	263	8.77%
無回答	90	3.00%
無効(複数回答)	43	1.43%
合計	3,000	100.00%

*無効(複数回答)

①② 14件、①③ 18件
②③ 11件

＜レジ袋が有料になったら＞



9. レジ袋有料店舗

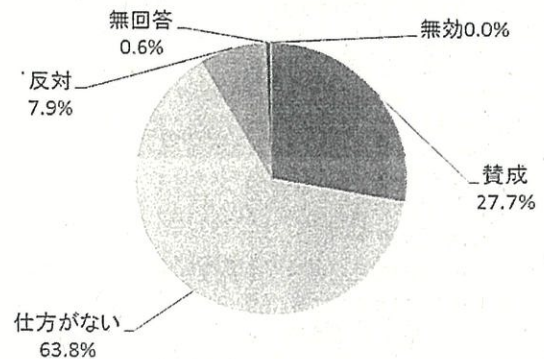
Q すでにレジ袋を有料にしているお店がありますが、どう思いますか？(1つのみに○)

	件数	構成比
①賛成	831	27.70%
②仕方がない	1,915	63.83%
③反対	236	7.87%
無回答	17	0.57%
無効(複数回答)	1	0.03%
合計	3,000	100.00%

*無効(複数回答)

①② 1件

＜レジ袋が有料のお店について＞



10. マイバッグを持参する人を増やすには

Q 買い物のときにマイバッグを持ってお店に行く人を増やすためには、どうすればよいと思いますか？
(1つのみに○)

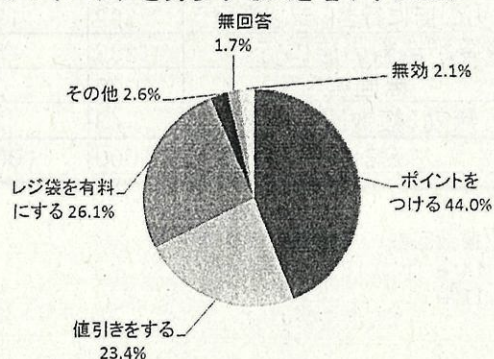
	件数	構成比
①ポイントをつける	1,320	44.00%
②値引きをする	702	23.40%
③レジ袋を有料にする	783	26.10%
④その他	79	2.63%
無回答	52	1.73%
無効(複数回答)	64	2.13%
合計	3,000	100.00%

*無効(複数回答)

①② 40件、①②③ 4件

①③ 18件、②③ 2件

＜マイバッグを持参する人を増やすには＞



④その他(主なもの)

- ・ ①か②店の都合の良い方で
- ・ PRを強化して周知を図る
- ・ あまり関係ない
- ・ エコの活動を広げること
- ・ エコをもっと盛大に宣伝すればいい
- ・ おしゃれで使いやすいレジ袋をキャンペーン等の粗品にする
- ・ おしゃれなマイバッグが増える
- ・ オフィシャルバッグを作り、配る
- ・ お金くれる。
- ・ お店が袋を出さないようにする
- ・ かなりお得感がないとむずかしいのでは？
- ・ かなり高額にする
- ・ ここにはない、他の方法がよい
- ・ ゴミの処理を自覚してもらう
- ・ ゴミ削減の為
- ・ ゴミ袋にするといい。名古屋市はそうしている。
- ・ すべて再利用しますので必要
- ・ そもそも配らない
- ・ ダンボールを使う、箱が必要だから
- ・ 2円袋代として返金が良いと思います。
- ・ どれもよくない
- ・ ふつうでよい
- ・ ポイントを今よりアップ
- ・ マイカゴ入れてくれたらもって行く
- ・ マイバッグの必要性を話す
- ・ マイバッグは必要ないと思う、レジ袋は必要
- ・ マイバッグレンタル制にする
- ・ マイバッグをお店で一度配布する
- ・ マイバッグを使う気がない為よくわからない
- ・ マイバッグを持つ必要性について、又、ゴミをゼロにする為にレジ袋が悪なのか、根本的に考え直す必要があると思っている。
- ・ マイバッグを数個持ち常に車内に用意する
- ・ マイバッグを配る

- ・ もったいない精神を教える
- ・ もっと高くする
- ・ レジ袋がいる人もいる事を考えるべきでは
- ・ レジ袋のリサイクル場所を店舗中に作れば良いと思う
- ・ レジ袋を高く
- ・ レジ袋を無くす
- ・ レジ袋を有料にしても意味がないような
- ・ レンタル制にして欲しい。忘れるので。
- ・ 何でも良い、メリットがあれば
- ・ 個々人のその時の都合(自由意志と思う)
- ・ 個人個人
- ・ 個人個人の意識の問題、もっと宣伝する。
- ・ 公平感のあるサービス
- ・ 市町村指定のゴミ袋を渡す(ポイント化して)
- ・ 市内店舗全てバッグ提供無し
- ・ 持ち運びに便利なマイバッグ、かさばらない？
- ・ 自覚する
- ・ 自分が忘れる事が多いので返事に困るよ
- ・ 自分で意識するしかない
- ・ 自分で気をつけるしかない(4件)
- ・ 自分自身で自覚を持つ
- ・ 主婦はエコより節約に反応すると思う
- ・ 常に車やバイクにマイバッグを置いておく
- ・ 新規でポイントカードを作った人に何かマイバッグになる様、物をあげたら良い
- ・ 人それぞれに事情があるだろうからわからない
- ・ 大きい金額で値引きするなら持って行くことを考える
- ・ 店で使用中のカゴを無くし直接バッグかマイカゴを使用してもらおう
- ・ 盗難等疑われることが心配
- ・ 意識の問題
- ・ 意識をたかめる
- ・ 意識付けをする
- ・ 買い物客の意識・・・
- ・ 本人の意識の問題なので普及が重要かと
- ・ 本人の意識次第
- ・ 本人の自覚・・・
- ・ 本人の自覚だと思えます
- ・ 万引きか問題なければ
- ・ 魅力的なマイバッグを売る
- ・ 友人と声を掛け合う
- ・ 有料でもいいが、何か特典が付くのがよいと思う

アンケート



- Q1 あなたはどの年代ですか？（1つのみに○）
①10代以下 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上
- Q2 あなたの性別を教えてください。（1つのみに○）
①男性 ②女性
- Q3 あなたのお住まいの市町村を教えてください。
_____ 市・町・村
- Q4 あなたは、平成22年6月から始まった「岡山県統一ノーレジ袋デー（毎月10日）」のことは知っていますか？（1つのみに○）
①知っている ②知らない
- Q5 あなたは、買った商品を入れて持ち帰る袋（マイバッグ）やふるしきをお持ちですか？（1つのみに○）
①持っている（Q6へ） ②持っていない（Q8へ）
- Q6 あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか？（買い物10回のうち、マイバッグを持って行く回数）
10回のうち_____回くらい（0～9回→Q7へ、10回→Q8へ）
- Q7 マイバッグを持って行けない（行かない）時の理由は何ですか？（複数に○可）
① マイバッグを持って行くのを忘れる
② マイバッグを持っていない時に買い物に行く必要がある
③ レジ袋をもらいたい
④ マイバッグを持って行くのが面倒
- Q8 あなたは、いつも買い物に行くお店がレジ袋を有料にしたらどうしますか？（1つのみに○）
① 買った商品を入れる袋（マイバッグ）などを持って、いつものお店に行く
② いつものお店に行き、お金を支払ってレジ袋を買う
③ レジ袋が無料のお店に行く
- Q9 すでにレジ袋を有料にしているお店がありますが、どう思いますか？（1つのみに○）
①賛成 ②仕方ない ③反対
- Q10 買い物のときにマイバッグを持ってお店に行く人を増やすためには、どうすればよいと思いますか？（1つのみに○）
①ポイントをつける ②値引きをする ③レジ袋を有料にする
④その他（_____）

ご協力ありがとうございました。



岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

平成29年度おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト 募 集 要 領

1 趣 旨

県では、循環型社会の形成に向けた3Rスリーアール（ごみを減らす（リデュース）、再使用する（リユース）、再生利用する（リサイクル））の取組を進めるため、「もったいない」をキーワードに「おかやま・もったいない運動」を実施している。

ついでには、もったいない精神の普及と3Rに対する意識の高揚を図るため、「おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」を実施する。

2 主 催 等（予定）

主催：岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：公益財団法人岡山県環境保全事業団、地球温暖化防止プロジェクト推進会議

後援：岡山県教育委員会

3 応募資格 県内の小学生 ※家族と一緒に取り組むこと。

4 取組期間・内容

- 平成29年8月31日までの1週間以上の期間
- 小学生と家族と一緒に、3Rや地球温暖化防止に向けた取組を実践する。
 - A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組
 - B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組

5 応募方法 学校を通じて提出すること。

- 報告用紙に取組状況の写真や取組資料などできるだけ添付する。
- 応募は、1人1点とする。
※家族内の兄弟等が同一の取組をした場合は、代表者1人1点とする。
- 学校内の報告用紙を取りまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付する。

6 応募締切 平成29年9月15日（金）〔必着〕

7 応 募 先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県環境文化循環型社会推進課内

「おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」係

（TEL 086-226-7306 FAX 086-224-2271）

8 審 査 主催者が委嘱した審査員により審査する。

9 発 表 平成29年11月予定 ※受賞者の学校、学年、氏名を公表する。

10 表 彰 次のとおり入賞作品に賞状及び副賞を贈呈する。

表彰式：12月に岡山市内で開催（予定）

展 示：県内3箇所程度（予定）

個人の部		団体の部	
最優秀賞	1名	最優秀賞	1学校
優 秀 賞	5名	優 秀 賞	若干校
努 力 賞	10名		

11 そ の 他 応募した報告書等の一切の権利は、主催者に帰属し、返却しない。 受賞作品は、県で管理し、広報等に利用することがある。 応募者全員に参加賞を贈る。

平成29年度 おかやま・もったいない！ 小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト 作品募集！

私たちは、とても便利で快適な暮らしをしていますが、貴重な資源を消費するだけでなく、たくさんの「ごみ」を生み出しています。

そこで、岡山県では、**もったいない**精神の普及と**3R**（スリーアール：リデュース（ごみをもとから減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再生利用する））に対する意識を高めるため、次のとおり家庭でできる3Rや地球温暖化防止に向けた取組を行う参加者を募集します。

応募資格

県内の小学生
家族と一緒に取り組むこと

応募締切

平成29年9月15日（金）必着

■取組期間

平成29年8月31日までのうち1週間以上

■取組内容

「もったいないチャレンジャー」として小学生と御家族と一緒に、3Rや地球温暖化防止に向けた取組をして、「報告用紙」に記録します。

A：ごみゼロチャレンジ

買い物や食事など、日常生活を通した3Rに向けた取組

B：温暖化防止チャレンジ

電気や水の節約など、温暖化防止の取組

■応募方法

学校を通じて提出してください。

- ・応募は報告用紙1人1点としてください。
※ただし、家族内の兄弟等が同じ取組をした場合は、代表者1人1点とします。
- ・取組状況の写真や取組資料などもできるだけ添付してください。
- ・学校内の応募を取りまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付してください。

■審査

主催者が委嘱した審査員が審査します。

■表彰

個人の部、団体の部に、次の賞を贈ります。（賞状及び副賞を贈呈）

- ・個人の部
最優秀賞：1名 優秀賞：5名 努力賞：10名
- ・団体の部
最優秀賞：1学校 優秀賞：若干校

受賞者は、学校名、学年、氏名を公表しますので、ご了承ください。

**応募者全員に
参加賞を贈ります！**

■表彰式等

表彰式：12月に岡山市内で開催（予定）
作品展示会：県内3箇所（予定）

■応募作品の取扱い等

応募作品の一切の権利は、主催者に帰属し、返却しません。
受賞作品は、岡山県で管理し、広報等に活用します。

<お問い合わせ・応募作品送付先>

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
岡山県環境文化循環型社会推進課内
「おかやま・もったいない！
小学生ファミリー・エコチャレンジコンテスト」係
電話：086-226-7306 FAX：086-224-2271
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30>
報告用紙等ダウンロードできます。

たくさんのご応募
お待ちしております。



©岡山県「ももっち・うらっちと仲間たち」

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
共催：公益財団法人岡山県環境保全事業団・地球温暖化防止プロジェクト推進会議
後援：岡山県教育委員会

産業廃棄物処理税活用事業

岡山県では、産業廃棄物の処分量に応じて、事業者には課税し、廃棄物の抑制やリサイクルの推進に活用しています。



©岡山県「ももっち・うらっちと仲間たち」

わたしたちの日々の生活
ちょっとした「もったいない」の積み重ねが環境
保全に大きな効果を生み出します。
さあ、みなさんも「もったいない」でエコライフを
始めましょう。

知って気づいてエコな情報

○年間の「食品ロス」量は、我が国の食用魚介類の量と同じ！
日本では、年間2,797万トンの食品廃棄物等が出されています。
このうち、食べられるのに捨てられる、いわゆる「食品ロス」は、
632万トン。日本全体の食用魚介類に相当する量です。
「食品ロス」のうち、約半分は家庭から発生しており、
一人1日当たりに換算すると約136gになります。
これは国民みんなが毎日茶碗約1杯分のご飯を捨てている
計算なのです。

※消費者庁HP参照



○牛乳パック6枚で、トイレットペーパーが1つできます！
飲み物用の紙パックの生産量は年間約70億個。日本人
1人あたり約58個の紙パックを、1年間に使っている計
算になります。(1週間に1個程度。)
これを、そのまま捨てないで、紙の原料などに使えたら
いいですね。牛乳パック6枚あれば、トイレット
ペーパーが1つできるそうですよ。

※「全国パック連」HP参照



○日本のレジ袋の使用量、1人が1日に1枚使うと、年間38万トン！



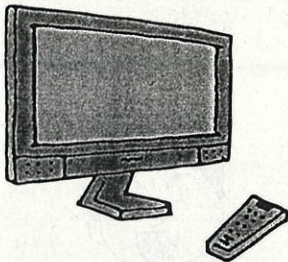
日本のレジ袋の使用量は、年間約38万トンと推計されています。
これは、日本全国で約470億枚、国民1人1日1枚ほど使っている
計算です。
レジ袋の使用を減らすため、全国各地で買い物袋を持参する「マ
イバッグ運動」が展開されています。
さらに、積極的な地域やお店などでは、レジ袋の無料配布中止
や、レジ袋の辞退者への割引サービスなど、さまざまな取り組
みが進められています。

○蛇口から水を5秒出しっぱなしにすると1リットル！

蛇口から流れる水は、1秒でコップ1杯分（約200cc）。5秒も流しっぱなしにすると、1リットルも無駄に流れていくんです。日本人が1年間に飲む炭酸飲料は1人平均で約24リットル、コーヒー飲料で約23リットルと推計されていますから、わずか2分間蛇口を開け放しにしておいただけで、同じ量の水を流していることになるわけです。



○知らないうちに、電力が…



リモコンをピッと押せば、パッと付くテレビ。でもそのために、テレビはあなたが見ていない間も常にスタンバイ中。この間に消費している電力が「待機電力（待機時消費電力）」と呼ばれます。平均的な家庭の待機電力量は、全消費電力量の7.3%という調査結果も。

○毎年、お風呂から捨てるお金が1万円！



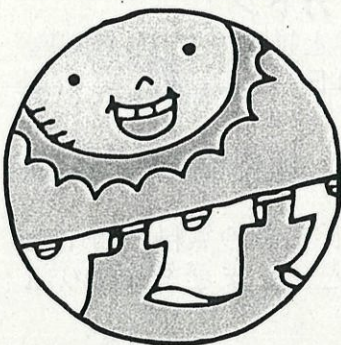
浴槽の容積は約200リットル。毎日お風呂のお湯を張り替えれば、年間の使用量は約73,000リットル。この分の水を有効活用すれば、水道料金が1,400円/10m³とすると、年間で10,220円分の水が節約できる計算です。お風呂の残り湯は、洗濯や庭の水まき、洗車などに有効活用することを考えたいですね。

○一人が1年間に9kg捨てるものは？

あなたが何気なく捨てている服、でも、日本全国では、年間約100万トンが捨てられると推計されています。一人あたりにすると、年間約9kgの服を捨てていることとなります。捨てられた服のうち、リサイクルされるのは5～10%程度と推測されており、そのほとんどが焼却されたり、埋め立てられています。流行だからといって、安易に新しい服を買っては、古い服を捨てていませんか？



○晴れた日は干す。自然エネルギーを使ってみましょう！



お子さんの洗濯物など、急いで乾かさなくてはならないものがあるときには便利な乾燥機。でも、消費電力はとても大きいのです。天気の良い日には、乾燥機を使わずに外で天日干し。特に、日中2～3時までが気温も高く、湿度も低いので乾燥しやすく、また紫外線による殺菌効果も期待できます。風通しがよいところでは、効果倍増です。こんな昔ながらの乾燥法も、自然エネルギーを活用したエコライフの実践につながります。

※個別に参照先等を明記していないものは、（一財）環境情報センターが運用するEICネットのHPより引用しています。

おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト 応募者名簿

学校名※ _____ 小学校 _____ 担当者氏名 ※ _____

住 所※ _____ 連絡先(TEL)※ _____

(FAX)※ _____

(_____ 学年)

番号	氏 名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

番号	氏 名
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

○必須事項(※部分)は必ず記入してください。

○各学年ごとに名簿を作成し、一連番号をつけてください。

○名前は誤字・脱字のないよう、ご注意ください。

様式は岡山県循環型社会推進課のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30/>

平成29年度

「おかやま・もったいない！小学生ファミリー
エコチャレンジコンテスト」 報告用紙



©岡山県「ももっち・うらっち」

家族で取り組んだ「もったいないチャレンジ」の結果を報告します。

提出日：平成 年 月 日

<small>がっこうめい がくねん</small> 学校名／学年	小学校 第 学年
もったいないチャレンジャー (ふりがな) 氏名	

1. 「もったいないチャレンジ」に挑戦した期間は、いつでしたか？

平成29年 月 日 () ~ 月 日 () の1週間

* または、 [] 日間

(注) 8月31日までの間で、連続して家にいる週を選んで決めてください。基本は1週間ですが、できればもっと長い期間取り組んでみてください。(1週間以上のときは*に日数を書いてください。)

2. 協力してもらった家族は、誰ですか？

お父さん・お母さん・きょうだい () ・おじいちゃん・おばあちゃん・その他 ()

(注) 協力してもらった人に○印をしてください。きょうだいに手伝ってもらった場合は、() の中に、お姉さん、弟など、手伝ってもらった人を書いてください。

3. チャレンジを始める前の1週間に、家庭から出した「ア. 燃えるごみ」と「イ. 資源回収に出した資源物」について、それぞれの重さを教えてください。

ア. 燃えるごみ 重さ _____ kg

※重さがはかれないとき _____ 紙袋 _____ 枚分

イ. 資源回収に出した資源物 重さ _____ kg

(注) 重さははかれないときは、出した袋の数を書いてください。イには、それぞれの資源物の重さの合計を書いてください。期間中に資源回収がないときは、いま分けてある資源物の重さを書いてください。

※チャレンジした後と比べて、重さ(量)が変わらなくても数字は気にしないでください。(チャレンジで何をしたか、どんな工夫ができたかが一番大切です。)

4. チャレンジャーとして、1週間で挑戦したこと

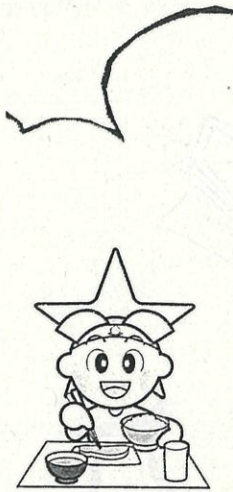
- 注)・挑戦したことの左の□にチェック(☑印)をしてください。☑をつける数は、いくつあってもかまいません。
・お家の人がいっしょに協力したことで、☑をつけてかまいません。
・ごみゼロチャレンジ・温暖化防止チャレンジのうち、どちらかだけでもかまいません。できる範囲で挑戦してください。
・()があるところには、内容を書いてください。

A) ごみゼロチャレンジ〔41項目〕

1) 食事をするときや作るときの工夫〔15〕

ア. 食事をするとき

- 食べ残しをしなかったり、好き嫌いをせずに食べるようにした
- 紙皿や紙コップなどの使い捨て商品を使わないようにした
- お店で食べる時、食べきれだけの量をたのんだ
- 外で食べる時、割りばしを使わず、マイはしを持ち歩くようにした
- 外に出るとき、水筒を持ち歩き、ペットボトルなどの飲み物を買わないよう



ウ. 食事が終わったとき

- 生ごみは、たい肥として利用したり、家の庭に埋めるようにした
- 生ごみは、水をよく切ってからごみに出すようにした
- 生ごみを排水(はいすい)に流さないようにした

イ. 食事を作るとき

- 食べ残しをなくすため、料理は余分な量を作らないようにした
- 野菜などは使いきり、調理くずを出さないようにした
- 余った食材は、他の料理に使うなどむだなく活用した

エ. その他食事やキッチンでのちょっとした工夫

- 賞味・消費期限(しょうみ・しょうひきげん)をこまめにチェックした
- 冷蔵庫や収納庫(しゅうのうこ)を、点検する日をつかった
- 食器(しょっき)を洗った水や米のとぎ汁を、庭木の水やりなどに使用した
- 天ぷら油を資源回収(しげんかいしゅう)に出したり、石けんを作ったりして、そのまま排水(はいすい)に流さないようにした



2) 買い物をするときの工夫 [15]

ア. 長く使える商品などを選ぶ

- 同じ商品でも、なるべく長く使える商品を選んだ
- 流行(りゆうこう)にとらわれず、あきのこない商品を選ぶようにした

イ. 計画的に買い物をする

- 買うものをメモして、店に行くようにした
- 買う前に、本当に必要かどうかを考えてから買うようにした
- おもちゃやテレビゲームを買うのがまんした



ウ. マイバッグの持参など、買い物する前からごみを減らす工夫をする

- マイバッグを店に持って行き、レジ袋(ふくろ)や紙袋をもらうのをことわった
(家族合計の回数: 回)
- 包装紙(ほうそうし)やブックカバーを店でことわった
(家族合計の回数: 回)
- 使い捨ての割りばし、スプーン、ストローなどを店でことわった
(家族合計の回数: 回)



エ. ごみになる量が少ない商品や環境(かんきょう)にやさしい商品を買う

- 洗って何度も使えるリターナブルびんを優先(ゆうせん)して買った
[例: 牛乳びん]
- 洗剤(せんざい)などのつめかえ商品を買った(物:)
- 環境(かんきょう)にやさしいエコマークのついた商品を買った
(物:)
- ノートやトイレトペーパーは再生紙(さいせいし)で作られた商品を買った
- 野菜などは、有機栽培(ゆうきさいばい)や地元のものを買うようにした

オ. その他買い物についてのちょっとした工夫

- 使い捨ての商品はできるだけ買わないようにした
- ごみを減らしたり、リサイクルに取り組む店(エコショップ)を利用した



3) 生活の知恵と工夫 [11]

ア. ごみをなるべく出さない生活をする(リデュース)

- 広告、チラシ、カレンダーなどの裏面をメモ用紙に使うようにした

ウ. ごみになるものであっても大切な資源として活用する(リサイクル)

- 新聞、雑誌(ざっし)、牛乳パック、食品トレー、ダンボールを、資源回収(しげんかいしゅう)などに出した
- かん、びん、ペットボトルを分別(ぶんべつ)して、資源回収(しげんかいしゅう)などに出した
- 包装紙(ほうそうし)や紙ばこなどの雑紙(ざつがみ)も、捨てずに資源回収(しげんかいしゅう)などに出した

イ. ごみになるものであっても使えるものは再使用する(リユース)

- 親戚(しんせき)や友人たちと、いらなくなった洋服などを交換した
- 故障(こしょう)したり、こわれた物を修理して使った(物)
- ペットボトルは、捨てずにお茶などを入れて使うようにした

エ. その他ごみについて生活面でのちょっとした工夫

- 外に出たとき、ごみはできるだけ持ち帰るようにした
- 家族でごみを減らす方法やふだんの手伝いなどを話し合った
- 自分の部屋をはじめ、家の中を整理整頓(せいりせいとん)した
- 文房具やものを捨てる前に、まだ使えるかどうかを考えた



B) 温暖化防止チャレンジ〔23項目〕

1) 電気の節約などの工夫[12]

- 使わない部屋の電気は、こまめに消すようにした
- 見ていないテレビは消すなど、つけっぱなしにしないようにした
- ゲームをするときは、時間を決めてするようになった
- エアコンを使うのをがまんしたり、扇風機(せんぷうき)を使うようにした
- 冷房(れいぼう)の温度を28℃以上に設定(せってい)した
- エアコンのフィルターを掃除(そうじ)した
- 緑のカーテンになる植物をうえた
- 寝る前や長時間使わないとき、家電製品のコンセントを抜くようにした
- 部屋を片づけてから、掃除機(そうじき)をかけるようにした
- 入浴後に浴槽(よくそう)にフタをしたり、お風呂に続けて入るようになった
- 冷蔵庫(れいぞうこ)と壁の間にすきまをあけた
- 冷蔵庫(れいぞうこ)は、何を取り出すか決めてから開け、すぐに閉めるようにした
- 冷蔵庫(れいぞうこ)にもものをたくさん詰めこみすぎないようにした

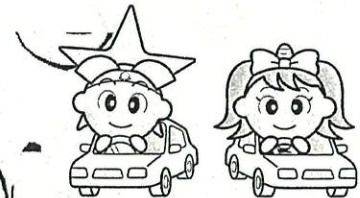


2) 水の節約などの工夫[5]

- 歯みがきやシャワーのとき、水を出しっぱなしにしないようにした
- 料理を作ったり後かたづけのとき、水を出しっぱなしにしないようにした
- 鍋(なべ)や皿に残ったよごれは、ふき取ってから洗うようにした
- お風呂の残り湯は、洗濯(せんたく)や庭の水やりなどに使うようにした
- 洗濯(せんたく)はできるだけまとめて洗うようにした

3) 自動車に乗るときの工夫 (主に大人)[5]

- マイカーではなく、バスや電車などの公共交通機関(こうきょうこうつうきかん)を利用するようにした
- 近くの用事は、歩いて行ったり、自転車を利用するようにした
- 停車(ていしゃ)など車が止まっているときは、エンジンを切るようにした
- 車はゆっくり発進し、スピードを急に上げないようにした
- 車のエアコンを冷やしすぎないようにした



食べ残し・飲み残し もったいない！！

★残さず食べましょう・飲みましょう！

★料理の材料は、使いきりましょう！

★お店では、食べきれぬ・飲みきれぬだけ、注文しましょう！



平成28年度 おかやま・もったいない！小学生ポスター(絵画)コンクール受賞作品

岡山県 ・ 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

